

(東リ)アジア事業拡大の重点 100%出資の販売会社東璃(上海)を4月1日創立

東リ(株)は3月31日に中国に100%出資の販売会社東璃(上海)貿易有限公司「東璃上海」を設立した旨を発表した。同社は中期経営計画において「アジアを中心とする海外事業の拡大」を重点戦略として推進しており、新会社は、その中核となる中国での販路拡大を行うもので、現地に密着したきめ細かい営業活動により、東リブランドの一層の浸透を図る役割を担う。

【概要】

1. 名称 東璃(上海)貿易有限公司
2. 所在地 上海市普陀区銅川路70号 新城市中心広場1704室
3. 董事長 小谷良道氏
4. 董事・総経理 山本一人(代表)氏
5. 営業開始日 2014年4月1日
6. 資本金 400千米ドル

東リ取引価格改定を通知 塩ビ床材・タイルカーペット等、6月2日から10~15%程度

東リ(株)は、4月8日に、本年6月2日から製品の取引価格の改定を実施する旨を発表した。近年、原油価格の高止まりと為替相場の円安基調が続くなか、製品の主要原材料である塩ビ樹脂、可塑剤、ナイロン繊維等の価格も連動して断続的に値上がりが続いており、加えて、エネルギーコストや製品輸送費も軒並みに上昇している。そのような状況下、徹底した合理化とコストダウンに取り組んできたが、多方面にわたるコストの上昇は自助努力で対応できる限界をはるかに超えた水準になったことから、安定的な製品供給と品質維持のために、「価格改定の実施」を下記の通り行う。

【改定日】

2014年6月2日

【対象製品及び改定率】

塩ビ系床材及びタイルカーペットを中心とする東リ商品全般

現状取引価格より10%~15%程度の値上げ。

壁装新聞(第410号)より引用